

事務事業評価シート

事務事業コード	028500	重点施策	まちづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取空港の利用を促進する懇話会事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種類		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	その他
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取空港の利用を促進する懇話会負担金			予算事業コード	01-02-01-07-04-04

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取空港の利用促進
意図 (どのような状態にするために)	東京便の5便化維持、運賃低廉化、国際チャーター便の就航等。
手段 (どうするのか)	県内の自治体、商工団体、観光団体で組織する「鳥取空港の利用を促進する懇話会」が中心となり、便数の維持・拡大に向けた利用促進策や、国際定期路線の就航に向けた事業を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数36万人を目標値に設定。	鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数37万人を目標値に設定。	鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数38万人を目標値に設定。	鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数39万人を目標値に設定。	鳥取 - 東京便の利用促進事業の展開 有償搭乗者数40万人を目標値に設定。	
年度別実績	・利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数35.4万人	・利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数36.8万人	・利用促進事業 ・既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 ・鳥取空港の国際化への取組 ・関係機関への要望、働き掛け 鳥取 - 東京便の有償搭乗者数38.6万人				
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,817	12,819	12,738	0	0	
	直接経費 A	11,012	11,355	11,289	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	333	0	0	0	0
一般財源	10,679	11,355	11,289	0	0		
人件費 B	1,805	1,464	1,449	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.25	0.20	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	IKPI)年間有償搭乗者数	万人	目標	36
			実績	35.4	36.8	38.6	0	0
	(指標の説明) 基準値は平成22年度から平成24年度の平均有償搭乗者数							
2	鳥取空港国際チャーター便数	便	目標	10	10	10	10	0
			実績	8	46	34	0	0
	(指標の説明) 鳥取空港を利用した国際チャーター便数							
3	鳥取東京便数	便	目標	5	5	5	5	0
			実績	5	5	5	0	0
	(指標の説明) 東京 - 鳥取便の数							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P.197(都009)</p> <p>【事業の概要】 鳥取県、鳥取市をはじめとした鳥取県東・中部並びに兵庫県北部の各自治体、経済団体等で「鳥取空港の利用を促進する懇話会」を設立し、鳥取空港の利用促進活動を展開している。 1. 既存航空路線の増便、5便安定化、新規航空路線の開設への取組 2. 鳥取空港の国際化への取組 3. これらに係る関係機関への要望、働き掛け</p> <p>【事業の成果】 一般・特別負担金 11,289千円 鳥取-東京便の全搭乗者数 平成28年度 373,107人 平成29年度 388,423人 平成30年度 408,732人</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取-東京便の5便化定着に向け、更なる利用促進に取り組む必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]年間有償搭乗者数	98%	99%	102%		
	2	鳥取空港国際チャーター便数	80%	460%	340%		
	3	鳥取東京便数	100%	100%	100%		

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画どおり事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	鳥取・東京便は片道1万円を切る新たな早期割引運賃の販売開始や冬季閑散期を対象とした首都圏発の旅行商品の販売促進、地域一丸となったPR活動が大きく貢献し、前年度を20,309人上回る大幅な伸びとなったため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>羽田発着枠政策コンテストによる東京便5便化の期間が令和2年3月末までとなっており、5便化継続に向けて、さらなる利用促進を図っていくための対策を強化・推進していく必要がある。また、国際便の就航を目指し、県等の関係機関と連携した取り組みが重要となっている。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	028600	重点施策	まちづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	地方バス路線維持対策補助事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地方バス路線維持対策補助金			予算事業コード	01-02-01-09-06-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態にするために)	自動車の普及や少子高齢化の進行等の影響により、バス路線の減便・廃止が続く中、利用者本位の利便性の高い路線バスを維持する。
手段 (どうするのか)	バス事業者へ補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	
	年度別実績	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付	バス事業者への補助金交付			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	212,010	209,730	226,748	0	0	
	直接経費 A	210,566	207,900	225,299	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	38,007	33,688	33,985	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	172,559	174,212	191,314	0	0	
人件費 B	1,444	1,830	1,449	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.25	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
活動指標	1	[KPI] 路線バス利用者数の減少率	%	目標	95	95	95	95	95
				実績	98.5	99.2	98.7	0	0
	(指標の説明) 利用者の減少抑制を目指す。(対前年比95%以内)								
2	路線バス利用者数	人	目標	2680839	2546797	2419457	2298485	2183561	
			実績	2780149	2756953	2721028	0	0	
(指標の説明) 鳥取県東部の路線バス利用者数。									
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P197(都010)</p> <p>【事業の概要】 路線バスは、もっとも身近で、地域住民、特に高齢者や学生などの交通弱者にとっては欠くことのできない交通機関である。しかし、少子化や自家用車の普及などにより、バス利用者は年々減り続けており、多くの路線が赤字運行になっている。このため、国・県・市がバス事業者に対し補助金を交付してバス路線の維持に努めている。</p> <p>【事業の成果】 バス事業者へ補助金を交付することで、中山間地域をはじめとする鳥取市内の生活交通を維持する。 地方バス路線維持対策補助金実績 平成28年度 210,566千円 平成29年度 207,900千円 平成30年度 225,299千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 住民の生活交通を確保するため、更なる路線バスの利用促進に努めるとともに、代替交通手段の導入を含めた効率的かつ効果的な移動手段について検討・導入しながら、引き続き事業を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 路線バス利用者数の減少率	104%	104%	104%		
	2	路線バス利用者数	104%	108%	112%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画どおり事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	路線バスの維持・確保により、目標を達成した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	赤字の拡大や運転手不足を理由にバス路線の縮小・廃止が続く中、市民の移動手段を確保するため本事業を継続するとともに、より効率的かつ効果的な公共交通を整備していく必要がある。		

事務事業評価シート

事務事業コード	028700	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	バス代替タクシー運賃補助事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	40	安全・安心なまち		事業期間	平成30年度 ~ 全期
	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、 根拠計画等	
	4202	公共交通の確保			
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)	0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	36万人	39万人	会計区分	一般会計
		0	0		
予算	予算事業名	バス代替タクシー運賃補助金		予算事業コード	01-02-01-09-07-01

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態 にするために)	バス事業者による採算性の低い路線の見直しが進められる中で、公共交通空白地域や公共交通を補完する地域の生活交通を確保する。
手段 (どうするのか)	路線バスの代替として、乗合タクシーを運行させ、運行経費と運賃収入との差額をタクシー事業者に補助金として交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援	
年度別実績		乗合タクシー運行事業者への支援 平成28年度 新たに1路線運行開始 計7路線で運行中	乗合タクシー運行事業者への支援	乗合タクシー運行事業者への支援			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	29,328	26,191	27,086	0	0	
	直接経費 A	28,245	25,093	26,000	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	2,824	3,928	0	0
		地方債	3,700	2,400	2,800	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	24,545	19,869	19,272	0	0	
人件費 B	1,083	1,098	1,086	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.15	0.15	0.15	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	バス代替タクシー利用者数	人	目標	30000	30000	30000	21000	21000
				実績	32724	32601	31575	0
(指標の説明) バス代替タクシー年間利用者数								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P198(都012)</p> <p>【事業の概要】 バス路線網の再編・減便・廃止等に伴う代替手段として運行されている乗合タクシーの運行経費の一部を支援している。 平成13年10月～ 洞谷地区(予約) 平成20年10月～ 国府地域(予約) 平成22年1月～ 米里地域、気高・青谷地域(予約) 平成24年10月～ 南部地域6路線(定時・予約) H31.3に5路線廃止。 平成28年4月～ 南東部地域(定時・予約)</p> <p>【事業の成果】 路線バスの代替として、タクシーを既存の路線バスの各停留所を經由して運行させることにより、地域住民の生活交通の確保を図る。市は運行経費と運賃収入の差額を、運行業者に補助する。 補助金及び利用者数 平成28年度 28,245千円 32,724人 平成29年度 25,093千円 32,601人 平成30年度 26,000千円 31,575人</p> <p>【今後の課題・方向性】 本事業は、バス路線の廃止と縮小が続く中、住民の交通手段を確保する事業である。地域の実情に応じた生活交通を確保するため、今後も継続して事業実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	バス代替タクシー利用者数	109%	109%	105%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画どおり事業を完了することができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	乗合タクシーの運行を維持することで、目標を達成することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		
	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	バス路線が再編・廃止・減便された地域において、市民の交通手段を確保する重要な事業であり、継続実施する必要がある。		

事務事業評価シート

事務事業コード	028800	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	市町村有償運送事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
目標の	目標の種類別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の利便性の満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	外部委託
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	市町村有償運送事業費			予算事業コード	01-02-01-09-07-17

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公共交通空白地、交通不便地域の高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態にするために)	公共交通空白地、交通不便地域において利用者本位の利便性の高い公共交通を確保する。
手段 (どうするのか)	市町村有償運送を導入する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地区)	生活交通確保のため市有償運送によるバスを運行 ・気高循環バス(気高町・鹿野町) ・絹見バス(青谷町絹見・引地区) ・南部支線バス(河原町・用瀬町・佐治町)
年度別実績	市有償運送バス運行 ・気高循環バス 運行回数 5,365回 利用者数 19,059人 ・絹見バス 運行回数 925回 利用者数 3,117人	市有償運送バス運行 ・気高循環バス 運行回数 5,390回 利用者数 19,857人 ・絹見バス 運行回数 808回 利用者数 3,124人	市有償運送バス運行 ・気高循環バス 運行回数 5,368回 利用者数 18,188人 ・絹見バス 運行回数 736回 利用者数 2,294人				
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)
事業費(A+B)		20,388	20,097	24,228	0	0	
直接経費 A		19,666	19,731	23,504	0	0	
直接経費の財源内訳		国・県	0	3,167	4,786	0	0
		地方債	2,100	1,200	3,500	0	0
		その他	3,412	3,336	3,110	0	0
一般財源	14,154	12,028	12,108	0	0		
人件費 B	722	366	724	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.05	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				1	気高循環バス利用者数	人	目標	19059
			実績	19059	19857	18188	0	0
	(指標の説明) 平成28年度実績値							
2	絹見バス利用者数	人	目標	3117	3117	3117	3117	3117
			実績	3117	3124	2294	0	0
	(指標の説明) 平成28年度実績値							
3	南部支線バス	人	目標	0	0	0	6000	6000
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 平成30年度実績より算出							

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P199(都013)</p> <p>【事業の概要】 本市として、気高町・鹿野町に「気高循環バス」を、青谷町に「絹見バス」を運行しており、児童・生徒、高齢者等の移動手段を確保している。 気高循環バス 運行系統 4系統 22便/日 絹見バス 運行系統 1系統 10便/日 運休日 土日祝日及び12月29日から1月3日 運賃 中学生以上200円、小学生・障がい者等100円、幼児無料</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">気高循環バス</td> <td style="text-align: center;">絹見バス</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>平成28年度</td> <td style="text-align: right;">19,059人</td> <td style="text-align: right;">3,117人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成29年度</td> <td style="text-align: right;">19,857人</td> <td style="text-align: right;">3,124人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> <td style="text-align: right;">18,188人</td> <td style="text-align: right;">2,294人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 気高循環バス及び絹見バスは地域住民にとって貴重な生活交通であるため、今後も利便性の向上等を図りながら継続して事業を実施する。</p> <p style="text-align: center;">その他財源の使用料は、気高循環バス・絹見バス使用料。</p>			気高循環バス	絹見バス	利用者数	平成28年度	19,059人	3,117人		平成29年度	19,857人	3,124人		平成30年度	18,188人	2,294人
			気高循環バス	絹見バス													
利用者数	平成28年度	19,059人	3,117人														
	平成29年度	19,857人	3,124人														
	平成30年度	18,188人	2,294人														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	気高循環バス利用者数	100%	104%	95%		
	2	絹見バス利用者数	100%	100%	74%		
	3	南部支線バス					

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画どおり事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>運行系統数及び便数を維持し、目標を概ね達成できた。</p> <p>バスを利用して通学する学生が減少したため。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>少子高齢化の進展により公共交通の利用者減少、運転手不足などを理由に路線バスの廃止、減便が続いている。一方で、高齢者の増加などにより公共交通のニーズが高まってきていることから、利便性の高い運行とするため住民ニーズを踏まえたダイヤや路線検討などの改善を図る必要がある。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	028900	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	公共交通空白地有償運送支援事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

位置づけ の 体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち	事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり	根拠法令、 根拠計画等	
	施策	4202	公共交通の確保		
目標の 種別	目標の種別	平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)	0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数	36万人	39万人	会計区分	一般会計
		0	0		
予算	予算事業名	公共交通空白地有償運送支援事業費		予算事業コード	01-02-01-09-07-18

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	公共交通空白地、交通不便地域の高齢者や学生を中心とした、車を運転されない市民等。
意図 (どのような状態 にするために)	バス事業者による採算性の低い路線の見直しが進められる中で、公共交通空白地域や交通不便地域において利用者本位の利便性の高い地域交通を確保する。
手段 (どうするのか)	NPO法人などが運行主体となる公共交通空白地有償運送に対して運行費支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	公共交通空白地有償運送事業者への運行支援	
年度別実績		公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・福部循環バス ・ふるさとバス 交付額 3,302千円	公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・福部循環バス ・ふるさとバス 交付額 9,963千円 福部循環バスの購入費補助含む。	公共交通空白地有償運送事業者へ補助金を交付 交付実績 2件 ・福部循環バス ・ふるさとバス 交付額 3,149千円 福部循環バスの購入費補助含む			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	4,024	10,329	3,511	0	0	
	直接経費 A	3,302	9,963	3,149	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,650	2,612	1,574	0	0
		地方債	0	5,300	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,652	2,051	1,575	0	0	
人件費 B	722	366	362	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.05	0.05	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	過疎地有償運送事業者数	件	目標	2	2	2	2	2
				実績	2	2	2	0
(指標の説明) 鳥取市内の公共交通空白地有償運送事業者数								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P199(都014)</p> <p>【事業の概要】 公共交通空白地域対策や公共交通を補完するものとして、NPO法人等による「公共交通空白地有償運送」を支援する。</p> <p>【事業の成果】 福部循環バス 運行事業者：鳥取市社会福祉協議会 運行実績 H28 10,154人 H29 9,470人 H30 10,551人 補助実績 H28 2,772千円 H29 9,479千円 H30 2,715千円 ふるさとバス 運行事業者：NPO法人OMU 運行実績 H28 954人 H29 795人 H30 470人 補助実績 H28 530千円 H29 484千円 H30 434千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民との協働による公共交通確保の取り組みとして、継続して事業を実施する。</p>

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	過疎地有償運送事業者数	100%	100%	100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画どおり事業を完了することができた。
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	市民主体による生活交通を維持することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>	<small>少子高齢化の進展により公共交通の利用者減少、運転手不足などを理由に路線バスの廃止、減便が続いている。一方で、高齢者の増加などにより公共交通のニーズは高まってきており、本事業の拡充を図りながら、市民が主体となった地域交通の確保を図っていく必要がある。</small>	

事務事業評価シート

事務事業コード	029000	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	100円循環バス運行事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	その他
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	100円循環バス運行費負担金		予算事業コード	01-02-01-09-08-02	

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地で活動する市民、観光客等
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地活性化、公共交通機関の利用促進、市中心部における公共交通空白地帯の解消等。
手段 (どうするのか)	市街地をワンコイン(100円)で移動することができる公共交通を運行する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	年度別計画		くる梨の運行 年間利用者数37万人を目標値に設定。	くる梨の運行 年間利用者数38万人を目標値に設定。	くる梨の運行 路線見直し 年間利用者数39万人を目標値に設定。	くる梨の運行 年間利用者数40万人を目標値に設定。 新路線(実証実験)での運行開始	くる梨の運行 年間利用者数40万人を目標値に設定。 新路線(本格運行)に向けての路線見直し
年度別実績		くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 38.1万人	くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 39.5万人	くる梨の運行 3路線で運行 ・赤コース ・青コース ・緑コース 年間利用者数 39.7万人 路線見直し ㈱バイタルリードに委託し新路線案を作成。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	35,073	39,517	42,168	0	0	
	直接経費 A	33,629	37,687	39,995	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	7,604	8,409	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	33,629	30,083	31,586	0	0		
人件費 B	1,444	1,830	2,173	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.25	0.30	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	利用者数	人	目標	370000	380000	390000	400000	400000
				実績	381912	395471	397015	0
(指標の説明) くる梨の年間利用者数								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P200(都015)</p> <p>【事業の概要】 100円循環バス「くる梨」は、中心市街地の回遊性を高め活性化することを目的に、平成14年10月1日から実証運行を行い、運行ルート等の改善、バス活性化協議会での審議等を経て、平成16年1月から本格運行を開始している。また、平成25年4月から緑コースを運行開始した。令和元年10月1日より、赤・青・緑の3コースすべてを見直し、新ルートでの実証運行を開始する。</p> <p>【事業の成果】 (負担金及び利用者数実績) 平成28年度 33,629千円 381,912人 平成29年度 37,687千円 395,471人 平成30年度 39,995千円 397,015人</p> <p>【今後の課題・方向性】 中心市街地活性化、公共交通機関の利用促進、市中心部における公共交通空白地帯の解消等のため、継続して事業を実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標達成率	1	利用者数	103%	104%	102%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画通り事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	利便性の高い運行を維持することで、目標を達成することができた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了		<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合		<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了	
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>高齢化の進展等により、中心市街地居住者の生活交通としての利用が増加している。10月から実証運行を開始し、その結果を反映させた利用者本位の利便性の高い本格運行を目指す。</p>				

事務事業評価シート

事務事業コード	029100	重点施策	該当なし	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取港振興会対策事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	補助金交付
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	鳥取港振興会対策費			予算事業コード	01-07-04-01-04-03

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取港の利用者(市民、事業者等)
意図 (どのような状態にするために)	利便性の高い港湾 ・貨物取扱量の増加。(港湾利用企業の誘致、新規貨物の獲得) ・クルーズ客船の誘致、受入れによる港の賑わい創出。 ・ポートパークの利用。
手段 (どうするのか)	県、市、商工団体、事業者等で組織する「鳥取港振興会」に対し活動経費を補助し、クルーズ船誘致、外国貿易の促進策などを強化・推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
		鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助	鳥取港振興会へ職員を派遣 鳥取港振興会への事業・運営費補助
年度別実績		職員1名を派遣 補助金4,682千円	職員1名を派遣 補助金6,588千円	職員1名を派遣 補助金5,504千円			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	5,414	7,329	6,238	0	0	
	直接経費 A	4,692	6,597	5,514	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,692	6,597	5,514	0	0	
人件費 B	722	732	724	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
				鳥取港取扱貨物量	万トン	目標	73	74
1	(指標の説明) 鳥取港の輸出入・移出入に係る平成27年の貨物量	実績	72	81	63	0	0	
		目標	2	2	2	2	2	
		実績	0	1	1	0	0	
2	(指標の説明) 外国客船を含むクルーズ客船の寄港回数	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
		目標	0	0	0	0	0	

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326</p> <p>【10次総の施策体系】4202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P200(都016)</p> <p>【事業の概要】 鳥取港の利用促進を図るため、「鳥取港振興会」が行うポートセールス活動等を、県・市の商工部局、商工団体等と連携しながら支援する。 クルーズ客船誘致活動 外国貿易促進活動 港湾施設の整備及び港湾関係公共機関の設置に係る要望活動</p> <p>【事業の成果】 平成28年度 貨物取扱量 72万トン クルーズ船寄港 0隻 平成29年度 貨物取扱量 81万トン クルーズ船寄港 1隻 平成30年度 貨物取扱量 64万トン クルーズ船寄港 1隻</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取港を観光振興拠点及び物流振興拠点としていくための環境整備が重要となっており、県、国と連携し中長期的に取り組んでいく必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	鳥取港取扱貨物量	99%	109%	84%		
	2	クルーズ客船の誘致、受入		50%	50%		
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画どおり事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上：大幅に上回る」、「101%～150%未満：上回る」、「80%～100%以下：目標どおり」、「50%～80%未満：下回る」、「50%未満：大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	7月の豪雨や台風の影響により、砂やごみが港湾に堆積し、貨物船やクルーズ船の安定した寄港が困難となり計画を下回った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>本年度、県が主体となって策定する「鳥取港長期構想」に基づき、必要な整備を計画的に推進し、国の重要港湾、麒麟のまち圏域の観光振興拠点及び物流振興拠点に相応しい港湾を目指す。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	037800	重点施策	まちづくり	平成30年度 第10次鳥取市総合計画
事務事業名	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進事業		所属名	都市整備部 交通政策課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	安全・安心なまち		事業期間	全期
	政策	02	快適でゆとりある生活環境づくり		根拠法令、根拠計画等	
施策	4202	公共交通の確保				
施策の目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	鉄道、バスなど公共交通の便利さの満足度(H26年度:23.1%)		0%	30%	運営方法	直営
	鳥取砂丘コナン空港の年間有償搭乗者数		36万人	39万人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金			予算事業コード	01-02-01-07-03-17

※「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	「山陰新幹線」の早期実現
意図 (どのような状態にするために)	「山陰新幹線」の整備
手段 (どうするのか)	鳥取市長が会長を務める、2府5県52自治体で組織する「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」に対して、国への要望活動、山陰新幹線整備の効果検証、地元機運の醸成活動など、山陰新幹線の実現に向けた活動を支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
内容	年度別計画			山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援	
	年度別実績			山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議への支援			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	774	0	0	
	直接経費 A	0	0	50	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	50	0	0	
人件費 B	0	0	724	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
活動指標	1	KPI)山陰新幹線の実現を目指します。		目標	0	0	1	1	1	
				実績	0	0	1	0	0	
	(指標の説明) 山陰新幹線の実現を目指します。									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3					目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)										

5. 平成30年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326 【10次総の施策体系】4202</p> <p>【事業の概要】 (1)「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」に対し活動支援を行い、国及び関係機関・団体への要望、広域的・全国的な啓発、山陰新幹線整備に関する等に関する調査・研究、情報収集・交換等事業を展開する。</p> <p>会 員 山口県、島根県、鳥取県、兵庫県、大阪府、京都府、福井県等の市町村長 会 長 鳥取市長 深澤義彦 事務局長 京丹後市長 三崎政直 負担金 鳥取市：50,000円 (参考 米子市：50,000円、倉吉市：50,000円)</p> <p>【今後の取組】 新幹線整備計画路線の整備の完了が近づく中、今後数年が正念場となるため、関係者一丸となった取り組みを強化・推進していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
指標 達成 率	1	KPI 山陰新幹線の実現を目指します。			100%		
	2						
	3						

※達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が9月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了 <input type="checkbox"/>	計画どおり事業を完了することができた。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」の活動支援を行い、国への要望活動、地元機運の醸成、山陰新幹線の効果検証などを着実に推進した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>新幹線整備計画路線の整備の完了が近づく中、今後数年が山陰新幹線整備の正念場となるため、「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」の活動をさらに活発化させ、関係者一丸となった取り組みの強化・推進を図っていく必要がある。</p>	